

## 春風に誘われてウォーキング

平田 勝也

本年3月28日芳賀雅美さんが計画した、東京桑野会「歴史探訪散歩の会」に参加させて頂き、芳賀雅美・首藤敬勝・小林伸久各氏と平田勝也の4名がJR南千住駅前に集い、終点浅草駅までの8km強の道程で、NHKドラマ「べらぼう」の舞台となった遊郭吉原界隈を中心に色々と寄り道をしながら名所旧跡を七分咲きの桜を愛でながらゆっくり且つたっぷり心行くまで散策しました。

この件については、芳賀雅美さんが詳細な解説をなさるので、私はその露払いとして、やや異なる視点で私なりの感想を前段で少しばかり述べさせていただきます。別途「春風に吹かれて南千住から浅草界隈を訪ねる」の題目で簡単なコラージュを作成しました。

ウォーキングは、南千住を起点に、順に平賀源内墓→投込み寺と呼ばれる三ノ輪浄閑寺&永井荷風文学碑→あしたのジョー像→吉原敷地&見返り柳&耕書堂跡地→吉原神社→吉原弁財天→山谷堀公園で昼食→正法寺蔦屋重三郎墓→待乳山本龍院&池波正太郎碑→隅田川畔の第38回桜橋花まつり見物→浅草駅で解散という、盛沢山の行程でした。事前に、芳賀雅美さんがルート沿いの見学場所を詳細かつ端的に図表を含めて準備なさり、下見を兼ねて二度程散策なされた由伺い、併せて現地では微に入り細に亘るエピソード等も伺いながら、要所要所で記念撮影をしながら、ゆっくりと心行くまで堪能できたことは感謝に耐えません。

さて、とくに心に残ったスポットについて私見を述べさせていただきます。

平賀源内墓はあまり目立たない場所に設置されているものの、その佇まいは人々の尊敬と親しみを映し現在も変わらぬ菩提を弔う気持ちがよく表れていました。 p-1 平賀源内墓



投込み寺と呼ばれる浄閑寺の廓の女性達の悲哀を今に伝えるもので、現在まで彼女たちの悲哀を物語り、昔の時代背景と苦害の人生を物語り、人間の性の哀れさと残酷さを感じさせてくれます。

p-2 新吉原総霊塔



また隣接して、廓をこよなく愛したという永井荷風の文学碑も設置され、彼の文学の精神に流れるものが現実存在するものとして、非常に興味深いものがありました。

あしたのジョー像を囲んで記念写真を撮りましたが、残念ながら私はそれらの作品を読

んでおらず、名前ぐらいは存じておりましたが、折角ですので皆で記念写真を撮り、たまたまその場に居合わせた男女の若者グループと記念写真の撮り合いをして、仲良くエールの交換をし、大分若やいだ気分になりました。

p-3 あしたのジョー像



吉原敷地の入り口の見返り柳から始めて、芳賀雅美さんの詳しい説明で敷地内の各路地を見て参りましたが、現在でも複数の風俗店が点在し、各店のそれらしい男性関係者も所在無げに入り口に立ち、敷地を囲んで堀跡やけばけばしい色調の建物もあって、吉原遊郭の雰囲気は今でもそれなりに感じられました。更に少し離れて、吉原神社が後世建立され、私達もお賽銭をあげ参拝し、遊女たちの霊を慰め、記念撮影を致しました。

p-4 耕書堂跡



p-5 吉原神社



p-6 見返り柳

更に離れた場所に、吉原弁財天も詣で、弁天池・花園池跡や弁財天祠・壁画があり、関東大震災で溺死した約500人の遊女たちを慰霊する「吉原観音像」が建立され、今に幽玄な雰囲気醸し、霊を弔うべく祈りを捧げました。

p-7 吉原観音像

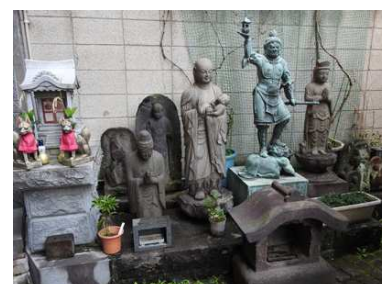
p-8 花吉原名残碑



しばらく歩き、正法寺に葛屋重三郎墓を詣で、江戸の人々の喝采と支持を集めた時代の寵児に敬意と親しみを込め、霊を弔いました。

p-9 葛屋重三郎墓

p-10 供養仏像



散歩も終盤を迎え、山谷堀公園でコンビニでビールと食べ物を買  
い、桜の下で花見がてらに昼食を  
摂り、しばしの休憩を致しました。

p-11 山谷堀公園で

p-12 東京スカイ  
ツリーを背景に



p-13 池波正太郎碑

休みの後、待乳山本龍院を訪ね、まず遊び人だった  
という池波正太郎の寺院崖下の碑に詣で、更に浅草寺  
支院の本龍院を拝謁し、夫婦和合の十一面観音に由来  
する特産大根を頂いて、構内の国土地理院の三等三角  
点を確認、道灌稲荷跡も観、比高差十数mの簡易モノ  
レールを楽しんで、隅田川畔の第38回桜橋花まつり  
見物を見学し、ウォーキングの終点と致しました。



p-14 待乳山・本龍院参拝 p-15 簡易モノレール p-16 花まつりダンス

しばしの休憩の後浅草駅まで最後の力を振り絞ってようやく到着し、芳賀・小林グルー  
プと首藤・平田グループに分かれ散会しました。最後は両脚がすり足を引きづりながら、  
やっと駅にたどり着きました。私達は、銀座線で日本橋まで行き、夫々東西線の昇り下り  
方向に分かれましたが、それから銀座線車中で思いがけず若く可愛らしいおしゃれな女性  
二人に席を譲られて感謝し、少しばかり話をしましたが、聞けば  
ヴェトナム女性とのこと、気持ちの良い国際交流が出来ました。

今回の散歩の会は、中身の濃く味わいの深い、充実した一日で  
した。

p-17 東京スカイツリー

【東京桑野会副会長76期 平田 勝也 記】





### 春風に吹かれて南千住から浅草界限を訪ねる

七分咲きの桜に誘われて、東京桑野会四名(芳賀雅美・首藤敬勝・小林伸久・平田勝也)が、初の「歴史探訪散歩の会」として、南千住を起点に浅草まで約8km強の道程を、順に平賀源内墓→投込み寺と呼ばれる三ノ輪浄閑寺&永井荷風文学碑→あしたのジョー像→吉原敷地&見返り柳&耕書堂跡地→吉原神社→吉原弁財天→山谷堀公園で昼食→正法寺葛屋重三郎墓→待乳山本龍院&池波正太郎碑→隅田川畔の第38回桜橋花まつり見物→浅草駅で解散。盛沢山の行程で、中身の濃い味わいの充実の一日でした。

(撮影；' 26.3.28

編集・制作；' 26.3.31 平田勝也)

